別添３

地域生物多様性増進法に基づく自然共生サイトの認定について（令和８年度第１回）

2026年６月

30by30

デコ活
くらしの中のエコろがけ

地域生物多様性増進法に基づく「自然共生サイト」について

環境省

■環境省では、**民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域**を**「自然共生サイト」として認定**する仕組みを令和５年度に開始（従前制度）。

■**ネイチャーポジティブに向けた民間等の活動をさらに促進**するため、自然共生サイトを法制化した**「地域生物多様性増進法」が令和７年４月に施行**。自然共生サイト相当の**生物多様性が豊かな場所を維持**する活動に加え、管理放棄地等において**生物多様性を回復・創出する活動**も認定の対象に。

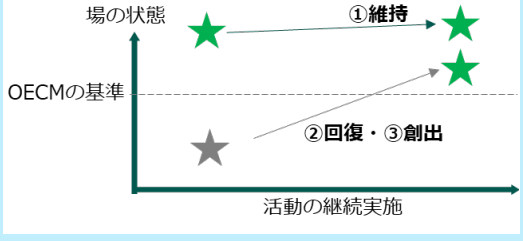
■従前制度における認定も含め、**令和８年６月末時点での自然共生サイトは合計610か所**。

■申請主体は**企業が約半数**で、地方公共団体やNPO等様々な主体が参画。

＜自然共生サイトの経緯＞

2020年 12月	検討開始
2022年 4月	30by30ロードマップ公表
12月	昆明・モントリオール生物多様性枠組（30by30目標含む）採択
2023年 4月	自然共生サイト制度の開始
10月	自然共生サイトの初認定
2024年 4月	地域生物多様性増進法成立
2025年 4月	地域生物多様性増進法施行
9月	令和７年度第１回認定（法に基づく初認定）
2026年 6月	令和８年度第１回認定

＜新法のポイント＞



①維持については自然共生サイト相当の活動（申請時点でOECMの基準を満たすもの）を想定。
②回復及び**③創出**については、活動計画の実施を通じて、将来的にOECMの基準を満たすような場所となるような取組を想定。

＜認定された「自然共生サイト」の例＞

盛岡セイコー工業　わくわくの森・わくわくトープ（岩手県）

日本製紙 鳳凰社有林（山梨県）

コウノトリ育む祥雲寺水田とビオトープ（兵庫県）

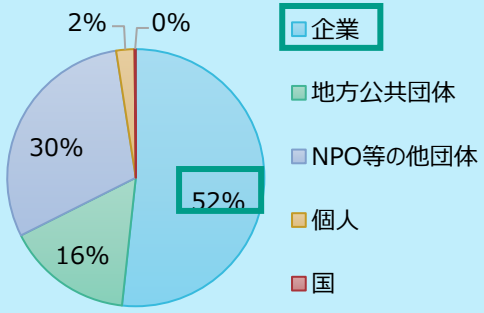
つくばこどもの森保育園（茨城県）

三井住友海上駿河台緑地（東京都）

山川の海のゆりかご（鹿児島県）

＜申請主体の内訳＞

※令和５年度からの累計



＜各地での認定証授与式の様子＞

令和８年度第１回自然共生サイト認定について（１）

環境省

■**令和８年６月30日**に、**令和８年度第１回認定**として、同法に基づき、**55か所の「増進活動実施計画」**及び**１か所の「連携増進活動実施計画」の計56か所**を**主務大臣が認定**。

■従前制度における認定も加えて、令和８年度第１回認定までに**610か所を認定**。

＜従前及び法定自然共生サイトの内訳＞

	従前の自然共生サイト（～令和６年度）	法定自然共生サイト（令和７年度～）	
～令和６年度	328か所、9.3万ha	－	－
令和７年度	（法定外202か所、8.1万ha）	（移行分126か所、1.2万ha）	新規241か所、2.3万ha
		計367か所、3.5万ha	
令和８年度第１回	（法定外187か所、6.3万ha）	**（移行分15か所、1.8万ha）**	**新規41か所、0.3万ha**
		計56か所、2.1万ha	
自然共生サイト合計	（法定外187か所、6.3万ha）	（移行分141か所、2.9万ha）	新規282か所、2.6万ha
		計423か所、5.5万ha	
	610か所、11.9万ha		

＜認定された自然共生サイトの例（令和８年度第１回）＞

鶴居・西武の森
（北海道）

江の島里海保全サイト
（神奈川県）

プラスランド
（群馬県）

サシバの里自然学校
（栃木県）

朝見の条里水田
（三重県）

令和８年度第１回自然共生サイト認定について（２）

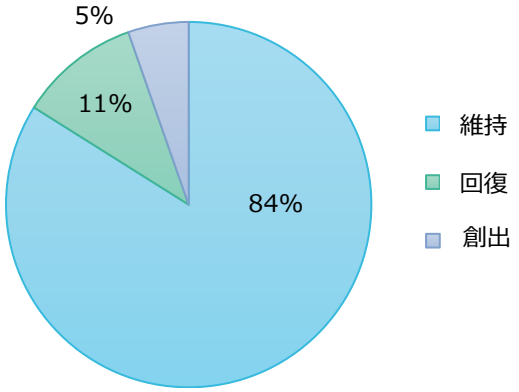
環境省

■ **55か所の「増進活動実施計画」のうち維持タイプ47か所、回復タイプ5か所、創出タイプ3か所及び1か所の「連携増進活動実施計画」のうち回復タイプ１か所を認定。**

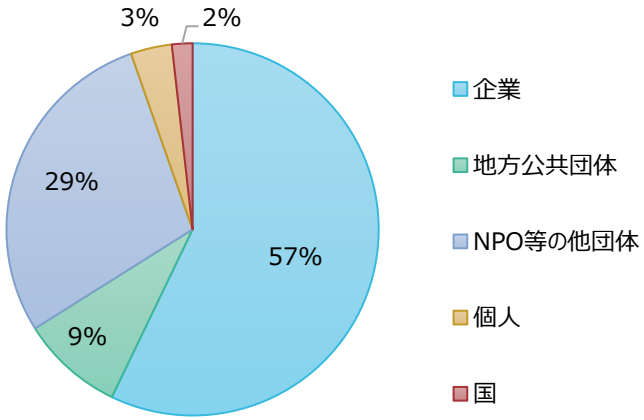
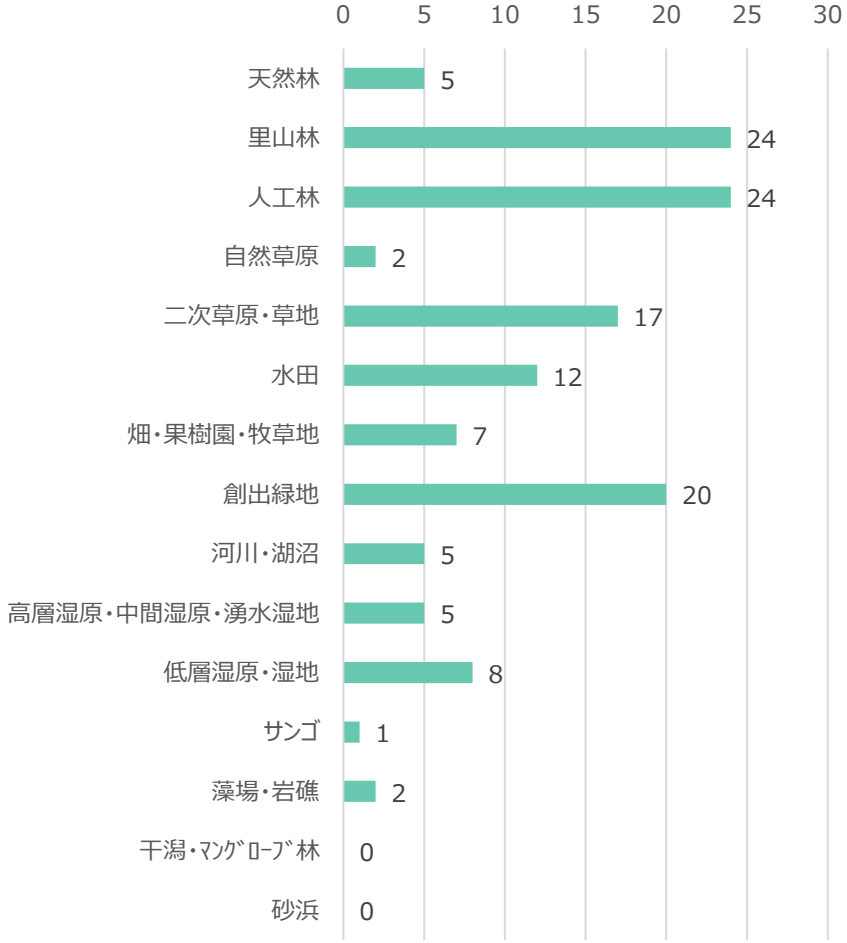
■ **里山林や人工林、都市の緑地など**身近な自然環境について多く認定。

■ **企業からの申請が約半数**で、NPO、教育機関、地方公共団体など様々な主体が参画。

＜類型別の認定数（令和８年度第１回）＞



＜申請主体別の認定数（令和８年度第１回）＞



＜生態系タイプ別の認定数（令和８年度第１回）＞